

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0426
施設名	松中保育園
施設所在地	〒1900033立川市一番町5-8-28
法人名	社会福祉法人 昭島愛育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本の世界の探求(3歳児)

<テーマの設定理由>

新園舎へ移り、2階の光の広場に絵本コーナーを作った。様々な年齢の子どもたちが絵本に触れる中で、子どもたちのつぶやきから絵本の世界を再現したらどのような感じかを感じこのテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

絵本を読む→子どもの反応を見る→つぶやきに沿った活動を取り入れ子どもたちの様子を見てさらなる展開を考える。
年間を通じて、絵本を通して子どもたちのつぶやきを取り入れ、活動に結びつけていった。
(年間計画に沿って行く)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 1、絵本コーナーの充実(絵本の管理ができるソフトの導入や絵本・図鑑の購入)
- 2、積み木の充実(カプラや白木の積み木の導入)
- 3、職員の積み木研修への参加
- 4、表現活動に活かせる粗大運動用遊具の導入
- 5、園外保育の充実を図った

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

年間計画通り

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

自然が見つかるの良いねと話をする、子どもたちは期待感に気持ちも弾ませていました！
戸外で梅の実が落ちていて「マスカットに見立てて匂いを嗅いだり、虫探しでは葉っぱが食べられているのを見て「これ絶対アオムシが食べたんだ！」と推測する姿。きゅうりの種まきでは種を見て「小さい」「黄色だね」「やわらかい」と観察していました。ちょっと難しいかな？と思うことも「難しくないよ～」「やってみよう」と頼もしい声が聞こえてきました。また、ダンゴムシの製作では、作品を飾る場所を自分たちで決めたりすることで環境そのものを楽しむ様子がわかった。子どもたちが大好きな絵本を劇遊びにするときには、小道具づくりも熱心に行っていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

絵本に触れることで子どもたちが次に展開する活動に意欲的になった。自分たちの好きな絵本を読む(読んでもらう)ことでイメージが広がり、室内外の活動がとても活発になった。子ども同士の関りが必然的になってくると、すごく自然なコミュニケーションで、自分たちのやりたいことを楽しむ姿が増えていった。